

昨年ついに「核兵器禁止条約」を国連が採択！されど日本は反対！
国民の願いがとどく新しい政治を切り開く年に！
市民と野党の共闘のカナメとして今年も頑張ります。

謹賀新年

昨年は大変お世話になりました。
今年も平和とくらしを守るために頑張ります。

2018年初春

- | | |
|-------------|------|
| 日本共産党神戸町委員会 | 本村伸子 |
| 衆議院議員 | 井上哲士 |
| 参議院議員 | 武田良介 |
| 参議院議員 | 松永成弘 |
| 町委員長 | 鈴木愛子 |
| 町会議員 | 正岡薫 |
| 元町会議員 | |



新しい年が明けました。
昨年は念願だった「核兵器禁止条約」が国連でついに採択されました。この運動で頑張るアイキヤンが「ノーベル平和賞」を受賞しました。しかしこの条約に日本政府はアメリカとともに反対したのです。ここに国民や被爆者の声が届かない自民党政治の反国民的な姿があります。
国民の多数は9条改憲など望んでいません。憲法改憲、原発再稼働、消費税増税など国民に押し付けながら、自らは森友、加計問題などまさに政治の私物化に恥じない安倍政治を認めることは絶対にできません。
日本共産党は共闘の力で、平和とくらしを守る新しい政治をめざし頑張ります。

住民のくらし、福祉向上を

日本共産党が新年度予算要望

日本共産党神戸町委員会は12月1日、谷村町長を訪ね、新年度の予算要望と懇談を行いました。(左写真)

- ①予算編成は住民のくらし、福祉と教育の向上を優先して編成を。また「公共料金」は抑制を。
- ②平成30年4月から「健康保険事業」が県に移行するが国保料を値上げしないように努めること。
- ③「人口減少」対策へ、「子育て支援」「新規定住者支援」などを一層強めること。さらに「魅力あるまちづくり」推進へさらなる住民参加を。
- ④「介護保険制度」から外された要支援①②の方々への支援に万全を期すとともに要介護認定者①②の保険外しに断固反対すること。
- ⑤中学校に続き小学校にもエアコン(クーラー)の設置を。
- ⑥養老鉄道の存続へ引続き努力するとともに、東赤坂駅にトイレの設置を。
- ⑦憲法9条改定や消費税増税、さらに原発再稼働にはキッパリと反対すること。

*申し入れに対し谷村町長は、可能な限り実現できるよう努力したいと応じました。



手前左が谷村町長、右若園総務部長
向う左から松永委員長、鈴木議員ら

日本共産党神戸後援会

新春のつどい

とき 1月27日(土)12時~

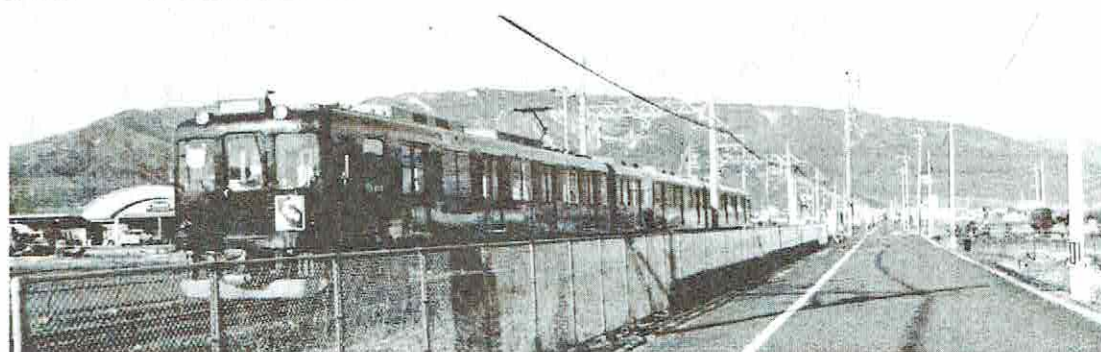
場所~神戸町産業会館(二階)

*参加申込みは鈴木(27-5954)

川井(27-7152)

地域の希望つなぐ養老鉄道

「鉄道事業再構築実施計画」が国の認定を受け、新年1月1日から新たな体制で再出発しました。地域発展の動脈として住民の期待が広がっています。



安倍9条改憲NO!

3000万人署名を一緒に!

憲法第九条 (戦力の放棄、軍備及び交戦権の否認)

* 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。

●安倍首相は、ここに新たに第三項をつくり

③自衛隊を明記しようとしている

安倍首相は通常国会に、上記のような憲法9条の改憲発議をねらっています。もしこれを許せば、国民投票を通じて、自衛隊が軍隊として堂々と世界の戦争に参加することを憲法で認めることになるのです。

この改憲を止める3000万人署名へ

今、この9条改憲を阻止しようと「全国市民アクション3000万人署名」が提起され、全国で大運動が展開されています。神戸町でも、9条の会、革新懇や日本共産党など多くの団体が共同してこの運動に取り組んでいます。

ぜひ一人でも多くの方々の参加・署名をお願いします。

安倍9条改憲NO! 3000万人署名めざす

憲法9条を考える討論集会

2月3日(土)午後1時30~

神戸町産業会館(商工会)二階

パネラー 日本共産党衆議院議員

本村伸子さん

主催~平和とくらしを守る神戸町懇談会



12月定例町議会報告 小学校クーラー設置に委託料計上

鈴木議員が予算、国保などで一般質問

12月定例議会では、中学校の特別教室と小学校の普通教室へのクーラー設置へ、設計委託料が計上され可決されました。新年度の事業として期待されます。

一般質問には5人が立ち、日本共産党の鈴木議員は、新年度予算編成の基本姿勢、配食サービスなどについて提言、町の見解を求めました。(上は鈴木議員)

「公共料金」「住民サービス」は維持したい

谷村町長が意向示す

今、自治体では新年度予算の編成作業が行われています。表面紹介のように、過日、日本共産党が予算要望を行いました。鈴木議員はこの要望を踏まえて三点について質問しました。

- ① 予算編成への基本姿勢と考え方は?
- ② 「公共料金」は抑制し、住民サービスは守るべきだがどうか?
- ③ 「魅力あるまちづくり」への新規施策は?

これに対し谷村町長は、財政状況は引続き厳しいが安定的な財政運営に留意しつつ、町民ニーズの高い事業へ重点的に配分したいと姿勢を述べ、さらに公共料金の値上げは抑制し、住民サービスを維持し

ていきたいと意向を示しました。また「まちづくり」では、5次総が定めている「暮らしやすさ実感 ごとど マイタウン」の実現を重点施策として掲げており、諸施策の実現にとりくむ考えを明らかにしました。

高齢者の配食サービスの負担軽減を

「おおむね65歳以上の独居・高齢者のみの世帯、及びこれに準ずる世帯」に配食サービスが行われています。

鈴木議員は、町が配達にかかる経費440円を補助しながら、弁当の本人負担が525円と他町に比べ高い現状を指摘して改善の必要性を強調しました。

これに対し町長は、これまでの方式などを検討して、来年度中には新しい方式に移行し、負担軽減と経費節減を図りたいと見解を述べました。